

紀伊半島大水害から15年

過去・現在、そして未来へ

あの日を忘れず、教訓を未来へつなぐ

令和8年 11月23日(祝) 12:30 - 16:30
(受付 12:00 ~)

会場

和歌山県立情報交流センター Big・U 会議室1

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9

定員 100名(当日先着順・事前申込不要)

参加費 無料

プログラム

12:30 ~	開 会 本山 貢 (和歌山大学長)
12:40 ~	講演1 「紀伊半島大水害の実態」 後 誠介 (和歌山大学 客員教授)
13:20 ~	講演2 「紀伊半島大水害からの復旧・復興」 竹下 航 (国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所長)
14:05 ~	講演3 「土砂災害に対する啓発活動」 木村 洋郎 (和歌山県土砂災害啓発センター所長)
14:45 ~	防災絵本読み聞かせ 佐藤 愛美 (智弁学園和歌山中学校3年生/防災士)
15:00 ~	トークショー 佐藤 愛美 × 後 誠介
15:30 ~	パネルディスカッション 「紀伊半島大水害から15年 —過去・現在、そして未来へ—」 コーディネーター 江種 伸之 (和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター長) パネリスト 後 誠介・竹下 航・木村 洋郎・ 谷口 順一 (伏菟野の明日を考える会 代表)
16:25	閉 会 江種 伸之 (災害科学・レジリエンス共創センター長)

*内容・時間は変更となる場合があります。

参加にあたっての注意事項

- 定員に達した場合は、入場をお断りする場合があります。
- 会場内に要約筆記を設置します。
※要約筆記とは話し手の内容をその場で要約し文字で伝える情報保障支援です。

シンポジウムのポイント

過去を知る

被災の実態を
振り返り、
教訓を学びます。

現在を見つめる

復旧・復興の歩みと
防災啓発の取組を
紹介します。

未来へつなぐ

パネルディスカッション
や絵本・トークを通じて、
次世代へつなぎ
ます。

火成岩体で発生した大規模土石流

金山谷地区(那智勝浦町井関)

■被災直後(2011年9月)



■復旧後(2017年)



付加体で発生した深層崩壊

伏菟野地区(田辺市伏菟野)

■被災直後(2011年9月)



■復旧後(2015年)



防災絵本読み聞かせ

災害を知り、備え、未来へつなぐ

2011年9月、紀伊半島を襲った豪雨災害。
多くの尊い命と暮らしが奪われました。

あれから15年——

過去を振り返り、現在の復旧・

復興の歩みを学び、

次の世代へ防災の大切さを伝えます。

